



～関東大震災から100年～

「被災地中区写真展」を開催します

関東大震災から100年という大きな節目の年を迎えるにあたって、震災当時の中区の被災直後に撮影された写真を、公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団「横浜都市発展記念館」との共催のもと、展示します。

震災から100年が経ち、中区の街並みは復興し、横浜市も大都市へと発展しましたが、大地震はいつ起きるかわかりません。この展示を通じて皆様が「防災」について、考える一助になれば幸いです。

1 展示場所及び期間

- (1) 野毛地区センター : 令和5年8月1日(火)から8月7日(月)まで
- (2) 竹之丸地区センター : 令和5年8月8日(火)から8月14日(月)まで
- (3) 本牧地区センター : 令和5年8月15日(火)から8月21日(月)まで
- (4) 中区役所別館 : 令和5年8月22日(火)から令和5年9月1日(金)まで

※展示数は会場によって異なりますが、おおむね5点から10点ほどの展示を予定しております。

2 展示内容

倒壊した橋や建物など、関東大震災の被災直後に中区内で撮影された写真を展示します。

なお、今回展示する写真につきましては、横浜開港資料館令和2年度第3回企画展示「レンズ越しの被災地、横浜-写真師たちの関東大震災-」(会期:2021年1月30日～4月18日)にて展示された資料を横浜開港資料館よりご提供いただいています。

【関東大震災について】

1923年(大正12年)9月1日11時58分に神奈川県西部を震源とするマグニチュード7.9の地震が発生しました。この地震において横浜市内では、死者23440人、負傷者42053人、行方不明者3183人も甚大な被害を受け、横浜は一日で焼け野原となりました(数値は横浜地方気象台ホームページから引用)。中区内でも建物や橋が倒壊する等、大きな被害を受けました。

展示写真の一部



【震災で建物が倒壊した馬車道通り】



【がれきの山となった本町通り】

お問合せ先

中区総務部総務課長

黒部 哲哉

Tel 045-224-8110